

医療現場：看護部

テーマ：マスク越しコミュニケーションの改善

■ 背景

感染症患者や化学療法治療を受けている患者等に接する際には、医療従事者はマスク着用が欠かせない。また、2020年来のコロナ感染症蔓延に伴い、医療従事者がマスクを装着していないと不安になる患者もいる。

その一方で、医療従事者がマスクやゴーグルを装着していると、下記のような問題が発生している。患者に対する医療者側のホスピタリティの側面からこれらは解決すべき課題と考えている。逆に医療者側も感染予防などの観点からやむを得ず装着している。



〈出典：看護roo!〉

■ 機能アイデア例

- ・マスク不要なフルフェースシールド(痰を吸引する際はシールド必須)
- ・視界に影響を与えず、動きやすいフルフェースシールドやヘルメット
- ・内部の換気可能かつ洗浄が容易なヘルメット
- ・拡声機能付きのフルフェースシールドやヘルメット
- ・曇らないフルフェースシールドやヘルメット
- ・患者情報が内部に表示される機能付きのフルフェースシールドやヘルメット
- ・耐薬品性の素材で出来ているフルフェースシールドやヘルメット



■ 市場性

コロナ渦の影響もあるため業務中(患者と接している間)は、医療従事者は基本的にはマスク、ゴーグルやシールドを着用している。医師、看護師や理学療法士などの医療従事者は全国で約330万人にも上る(令和2年版厚生労働白書)。訪問看護師を含めると対象者は更に増加する。多くの医療従事者が上記の課題に直面しているため、潜在的なニーズを大きいと思われる。

■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>